

平成27年度第2回経営協議会議事要録

- 1 日 時 平成27年6月22日(月) 14:15～16:15
- 2 場 所 ホテルアソシア豊橋 5階「チェリールーム」
- 3 出席者 議長 学長
小畑委員(委任状提出), 合田委員, 佐原委員(委任状提出), 古野委員, 武藤委員, 吉川委員(委任状提出), 大貝委員, 井上委員, 鈴木委員, 寺嶋委員
- 4 列席者 石川監事, 神野特別顧問

5 議 題

[審議事項]

- (1) 第3期中期目標・中期計画(最終素案)等について
- (2) 平成28年度国立大学法人運営費交付金概算要求(「機能強化」含む)等について
- (3) 平成26事業年度決算等について
- (4) 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について
- (5) 国立大学法人豊橋技術科学大学年俸制適用職員給与規程の一部改正について
- (6) グローバル対応学生宿舎の整備について

[報告事項]

- (1) 平成28年度施設整備費概算要求について
- (2) その他
 - ア 豊橋技術科学大学開学40周年記念事業について
 - イ 国立大学に対する予算の充実を求める声明について
 - ウ 国立大学振興議員連盟について
 - エ 国旗掲揚・国歌斉唱について
 - オ 国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン(中間まとめ)について

[その他事項]

- (1) 豊橋技術科学大学関係新聞記事について

6 議 事

議事に先立ち、平成27年度第1回議事要録(案)について、原案どおり確認された。

[審議事項]

- (1) 第3期中期目標・中期計画(最終素案)等について
寺嶋副学長から、資料「審議1-1」、「審議1-2」及び「審議1-3」に基づき、平成26年11月29日、平成27年2月2日及び平成27年5月28日開催の経営協議会にて審議及び検討の後、各項目担当者の意見、学内パブリックコメント及び文部科学省担当者からの意見聴取等を踏まえて見直した第3期中期目標・中期計画(最終素案)について、前回からの変更点等について説明があり、審議の結果、承認され、6月末日までに第3期中期目標・中期計画(素案)を文部科学省に提出することが確認された。
なお、文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり、併せて承認された。
また、資料「審議1-4」及び「審議1-5」に基づき、「戦略性が高く、意欲的な目標・計画調書」及び「組織及び業務全般の見直し内容を踏まえた検討状況及び中期目標・中期計画等への反映状況確認資料」について説明があり、引き続き精査するとともに、内容については学長に一任の上、7月15日までに文部科学省へ提出することが確認された。
- (2) 平成28年度国立大学法人運営費交付金概算要求(「機能強化」含む)等について
学長、大貝理事・副学長、井上理事・副学長及び鈴木理事・事務局長から、資料「審議2」に基づき、6月15日及び6月16日に文部科学省から公表された「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について(審議まとめ)」及び「国立大学経営力戦略」等を踏まえた、平成28年度概算要求に係る機能強化の方向性に応じ重点支援に係る戦略・取組構想について説明があり、審議の結果、本戦略・取組構想により、概算要求していくことが承認された。
また、学長から、高等教育に関する政策課程のうち国立大学に共通する課題等に対する重点支援の要求への対応について、説明があり、要求可能な事項については、概算要求してい

くことが承認された。

なお、要求事項・内容の精査、文部科学省との折衝等について、学長に一任することが併せて承認されるとともに、要求事項等については、次回の経営協議会にて報告することが併せて確認された。

主な意見等については次のとおり。（意見に対する回答含む。）

- ・第3期中期目標期間の重点的な取組（機能強化構想）は、今後の戦略、方向性及びビジョン等にとって、非常に重要なものであると感じているが、5月28日開催の経営協議会にて説明のあった3つの重点支援に対して、貴学はどのように考えているのか。
- ・本学は、地域に関係が深い大学であることから地域との繋がり外せないこと、かつ、ものづくりが盛んで、製造業においては日本一の規模を誇る愛知県に所在していることから、地域のみならず、世界にも通ずるものであると考えている。また、本学は単科大学であり、特定の分野で世界・全国的な教育研究を行っていることから重点支援①が近いと考えている。一方で、他大学の動向を見ると、特色のある大学の中には重点支援②を選択している大学もあるため、重点支援の選択については、引き続き、検討していきたい。
- ・機能強化の方向性等に応じた3つの重点支援の枠組みを踏まえると、社会実装という観点からの記載が目立ち、地域に根付いた産学官連携を強化していくという印象を受けるが、一方で、ビジョンにもある「世界に開かれたトップクラスの工科大を目指す」に当たっての取組及び方向性等は、どのように考えているのか。
- ・社会実装という観点については、民間企業との連携を強めながら、基礎研究から実用化までの過程の中で、本学では、主に基礎研究及び応用研究を行っていくことが考えられ、その中で国際的な評価を受けることが「世界に開かれたトップクラスの工科大を目指す」ことに含まれると考えている。

（3）平成26事業年度決算等について

鈴木理事・事務局長及び石川監事から、資料「審議3-1」に基づき、平成26事業年度の決算状況及び当該事業年度における監査結果について説明があり、審議の結果、承認され、6月末日までに財務諸表等を文部科学大臣に提出することが確認された。

併せて、鈴木理事・事務局長から、資料「審議3-2」に基づき、目的積立金の使途について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり、併せて承認された。

主な説明内容は次のとおり。

- ・会計監査人監査の結果、財務諸表等は適正であった。
- ・監事監査の結果、公表される事業報告書及び財務諸表等は適正であり、職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実認められない。また、会計監査人の監査方法及び結果は相当であると認めること及び指摘すべき後発事象はない。
- ・平成22年度以降、積み立ててきた目的積立金及び平成26年度の目的積立金見込額（決算剰余金の繰越し見込み額）の内、40,000千円（概算）を研究棟の空調設備改修経費に、13,000千円（概算）をグローバル対応学生宿舍関連経費に充当する予定。
- ・残額については、第3期中期目標期間における施設整備に充当する予定。

（4）平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

寺嶋副学長から、資料「審議4」に基づき、平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり、審議の結果、承認され、6月末日までに平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書を国立大学法人評価委員会に提出することが確認された。

なお、文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり、併せて承認された。

（5）国立大学法人豊橋技術科学大学年俸制適用職員給与規程の一部改正について

大貝理事・副学長から、資料「審議5」に基づき、国立大学法人豊橋技術科学大学年俸制適用職員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、文言等の軽易な修正等があった場合の取扱いについては学長に一任願う旨説明があり、併せて承認された。

(6) グローバル対応学生宿舎の整備について

学長から、資料「審議6」に基づき、グローバル対応学生宿舎の整備に係る財源及び費用等を含む整備の手法並びに今後のスケジュール等について説明があり、審議の結果、今年度10月上旬頃を予定している事業者選定のための公募に向け、具体的な整備手法の決定については、学長に一任することが承認された。

[報告事項]

(1) 平成28年度施設整備費概算要求について

学長から、資料「報告1」に基づき、要求事項の精査等学長に一任することが承認されていた平成28年度施設整備費概算要求について、6月18日付けで文部科学省へ提出した旨報告があった。

(2) その他

ア 豊橋技術科学大学開学40周年記念事業について

学長から、資料「報告2-1」に基づき、平成28年10月に迎える本学の開学40周年に伴う豊橋技術科学大学開学40周年記念事業に係る趣意書を作成していく旨、説明があった。また、豊橋技術科学大学開学40周年記念事業に係る趣意書の作成に関して、経営協議会学外委員に発起人になっていただきたい旨、依頼があり、了承された。

イ 国立大学に対する予算の充実を求める声明について

学長から、資料「報告2-2」に基づき、国立大学に対する予算の充実を求める声明について、説明があった。また、本件については、引き続き、他大学の動向を含めて注目していく旨、併せて説明があった。

ウ 国立大学振興議員連盟について

学長から、資料「報告2-3」に基づき、国立大学振興議員連盟について、説明があった。

エ 国旗掲揚・国歌斉唱について

学長から、資料「報告2-4」に基づき、6月16日に開催された国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議において文部科学大臣から説明のあった国立大学における入学式及び卒業式に係る国旗掲揚・国歌斉唱について、これまでの本学における実施状況等について、説明があった。また、本件については、今後どのように取り扱っていくか、他大学の動向及び実施状況を踏まえつつ、本学において十分に検討していく旨、併せて説明があった。

オ 国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン（中間まとめ）について

学長から、資料「報告2-5」に基づき、国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン（中間まとめ）について説明があった。

[その他事項]

(1) 豊橋技術科学大学関係新聞記事について

学長から、資料「参考」に基づき、平成27年5月20日から平成27年6月17日までの本学関係新聞記事について、説明があった。

以 上